

## 令和4年度「ビジネスアクセラレーターかながわ」NEW NORMAL PROJECT 2022募集要領

神奈川県が運営する「ビジネスアクセラレーターかながわ」協議会（以下、「BAK」という。）では、ベンチャー企業と大企業等の連携によるオープンイノベーションの実現を支援しています。BAKでは、これまでも大企業等が抱える課題や実現したいテーマに基づき、革新的な技術やアイデアを有するベンチャー企業を探索・マッチングし、事業化に向けた支援を行ってきました。

このたび、令和4年度のBAKの活動として、コロナ禍により顕在化した課題の解決に取り組むベンチャー企業を募集し、新しいプロジェクトの実現を支援します。

なお、本事業は、神奈川県がパーソルイノベーション株式会社（eiicon company）に委託し実施するものです。

### 1 募集の方式

以下の2つの方式（①大企業提示テーマ型、②ベンチャー発自由提案型）により、コロナ禍により顕在化した課題の解決に繋がる提案をベンチャー企業から募集し、最大12社を採択します。

応募資格や提案内容の要件を満たす場合には、①・②の両方に応募することも可能です。

方式	①大企業提示テーマ型	②ベンチャー発自由提案型
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>大企業が示した6つテーマ（別表）に対して、自社の技術やサービスを活用した連携プロジェクトを募集します。</li> <li>採択後は、応募したテーマを示した大企業と連携し、テーマの実現に向けたプロジェクトを組成し、推進していただきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチャー企業が自社の技術やアイデアに基づき、大企業等と連携して実施する、新サービス等の開発に係るプロジェクトを募集します。</li> <li>採択後は、提案者が希望する大企業等（BAK事務局から紹介する企業等を含む）と連携し、自らが提案したプロジェクトを組成し、推進していただきます。</li> </ul>
対象企業	全国のベンチャー企業	県内に本店を有するベンチャー企業
採択者数	6社（大企業1社につき1社）	6社
支援金額	上限900万円／社	上限600万円／社
審査者	テーマを示した各大企業がパートナーとなるベンチャー企業を選定する。その上で、外部審査委員及び県がプロジェクトの実現可能性や支援金の必要性を審査する。*	外部審査委員が審査・採択を行う。

#### （別表） 「①大企業提示テーマ型」の募集テーマ一覧

大企業	ベンチャー企業からプロジェクトを募集するテーマ
江ノ島電鉄株式会社	地域生活／観光の両立が求められる湘南・鎌倉エリアで賑わいや回遊を生み出す
小田急電鉄株式会社	沿線特性にあった「暮らす・遊ぶ」のアップデートを通じて沿線価値を最大化する
株式会社ツクイホールディングス	アフター60の一人ひとりにあった自分らしい“生き方”を支援する仕組み構築
株式会社テレビ神奈川	子育て家庭向けのプラットフォーム事業の促進

Hamee株式会社	PostコロナのEC事業者を支える顧客データプラットフォームの開発
株式会社マクニカ	空気質・カメラを活用した空間状況の先端センシング技術の活用によって、“安心・快適・便利”な空間・体験の創出

※ 支援金の提供を受けるためには外部審査委員及び県・BAK事務局による審査を受け、認定される必要があります。

## 2 応募資格

応募締切日時点において以下の要件を全て満たしていること。

### <共通要件>

- ・日本国内に住所を有し、国内法により設立された法人であること。
- ・中小企業基本法第2条第1項に規定される中小企業者<sup>\*1</sup>であること。  
(ただし、みなし大企業<sup>\*2</sup>は除く)
- ・神奈川県のBAK（ビジネスアクセラレーターかながわ）協議会<sup>\*3</sup>に加入している者であること。
- ・神奈川県の指名停止期間中の者でないこと。
- ・地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。
- ・反社会的勢力またはそれに関わるものとの関与がないこと。
- ・プロダクトや技術を持っていること。
- ・個人情報の取扱い等について定めた参加規約<sup>\*4</sup>に同意できること。

### <②ベンチャー発自由提案型に応募する場合の追加要件>

- ・神奈川県内に本店が登記された法人であること。
- ・連携を予定する企業もBAK協議会に加入している、もしくは採択時に加入すること。

※1 中小企業者の定義については中小企業庁の次のサイトを御覧ください。

<https://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html>

※2 次のいずれかに該当する者をいいます。

- ・発行済株式の総数又は出資金額の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している中小企業者
- ・発行済株式の総数又は出資金額の総額の3分の2以上を大企業が所有している中小企業者
- ・大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占めている中小企業者
- ・その他大企業が実質的に経営を支配する力を有していると考えられる中小企業者

(例：(1) 大企業及びその子会社等が過半数の議決権を保持する場合

(2) 大企業及びその子会社等が議決権について指示できる場合)

※3 県内に拠点を持つ大企業と、質の高いベンチャー企業による事業連携プロジェクトの創出を目的として、大企業・ベンチャー企業・研究機関・支援機関等が参画する協議会。加入による費用負担や義務はありません。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/cnt/f537611/bak01.html>

なお、未加入の企業については、本プログラムへの応募をもってBAK協議会に加入することに同意したとみなします。

※4 応募サイトに掲載します。

3 募集期間：令和4年6月10日（金曜日）14時から令和4年7月11日（月曜日）24時まで

#### 4 各募集方式において求める提案内容（プロジェクト）

次に記載した内容を満たす提案（プロジェクト）としてください。

##### (1) 共通事項

- ・応募するベンチャー企業自らが有する革新的な技術・サービス・製品を用いた提案であること。
- ・既存サービスをそのまま連携企業に適用（販売・導入）するのではなく、大企業等の連携パートナーとともに新しいサービス・製品の開発・実証に取り組む提案であること。
- ・コロナ禍によって顕在化した課題の解決に繋がるプロジェクトであること。
- ・令和4年度内にプロトタイプの開発を完了させ、モニター等を対象とした実証実験などを行う提案であること。
- ・提案内容について、過去に同一内容で国や公的機関による開発委託や開発補助を受けているものでないこと（令和4年度中の支援を含む。採択審査中に他の事業の採択を受けたことが明らかになった場合は速やかに申し出ること）。

##### (2) 個別事項

###### ①大企業提示テーマ型

- ・大企業が提示したテーマ（「1 募集の方式」参照）の実現について、当該大企業と連携して取り組むプロジェクトであること。

###### ②ベンチャー発自由提案型

- ・ベンチャー企業が中心となって複数の企業が連携して取り組むプロジェクトであること。  
※連携する企業名はプロジェクトメンバーとして応募時に明記してください。

応募段階では1者単独による提案でも構いません。

（採択後に連携企業の獲得・調整をBAKが支援します）

※連携する企業は神奈川県内に事業所等を有していない企業でも構いません。

- ・全国での展開を見据えた提案においては、まずは神奈川県内で実証実験を行うことを原則とし、少なくとも神奈川県を含む形で実証実験を行う（顧客として県民・県内企業を含む）ものであること。

#### 5 採択されたベンチャー企業に対する県の支援内容

開発・実証に係る支援金を提供するとともに、コンサルタントによる助言・調整、実証実験の実施に向けた調整、プロモーション活動なども支援します。

##### (1) 開発・実証支援金の詳細

###### ア 支援金額

- ①大企業提示テーマ型：最大900万円（税込）

②ベンチャー発自由提案型 : 最大600万円 (税込)

#### イ 対象経費

対象となる経費は、大企業等と連携して取り組むプロジェクトの推進に必要な経費のうち、別紙の「対象経費一覧」に該当する経費です。

#### ウ 対象期間

運営事務局と採択企業の契約締結日から令和5年2月28日まで

この期間内に納品等及び支払いが完了している必要があります。

また、利用期間が複数年度に渡るリース契約やクラウドサービスの利用料についても、契約締結日から令和5年2月28日までの期間の経費が対象となります。

#### エ 採択額

提出された応募書類、実証計画書(経費内訳を含む)等を、外部審査委員、県及び運営事務局が審査のうえ、予算総額の範囲内で採択企業ごとに採択額を決定します。

申請した経費全額での採択を保証するものではありません。

#### オ 経費の支払い

令和5年3月中に県及び運営事務局が内容を確認し、採択額を上限に採択企業(ベンチャー企業)に支払います。なお、プロジェクトの進捗に応じて必要となる金額を前金として令和4年10月頃にお支払いすることができます。詳細な時期、金額については採択後に運営事務局と調整のうえ、決定します。

## (2) その他の支援の詳細

- ・コンサルタントとの定期的な打合せによるプロジェクトの進捗管理、メンタリング
- ・プロジェクト実現に向けた連携企業の探索・獲得
- ・実証に向けたフィールド確保・関係機関との調整
- ・県によるモニター募集や広報活動、プレスリリース

その他、必要な支援があれば事務局と調整の上、行います。

## 6 参加費用

無料とします。

ただし、次の事業実施過程に係る提案・採択企業側の交通費・通信費については、御負担ください。

- ① 提案や審査のために行う、大企業等やBAK事務局との打合せ
- ② 採択後のプロジェクトの協議・進行のために行う、大企業等やBAK事務局との打合せ

## 7 採択予定の企業数・選考方法・時期

### (1) 採択予定数

応募いただいた内容をもとに、審査のうえ、最大12社を採択します。

- ①大企業提示テーマ型 : 6社 (1テーマにつき1社)
- ②ベンチャー発自由提案型 : 6社

### (2) 採択予定時期

令和4年9月中旬

なお、採択企業名の公表は9月中旬から10月中旬頃を予定しています。

### (3) 審査項目・配点・審査方法

#### ①大企業提示テーマ型：40点満点

審査項目	配点	審査の視点
新規性	10点	・コロナで顕在化した課題に対応する、新たな価値を生み出す共創アイデアであるか
市場性	10点	・市場・業界を理解した上での共創アイデアとなっているか ・対象となるターゲット・ユーザーの市場規模は充分にあるか
実現可能性	10点	・解決したい課題とソリューションが明確になっているか ・提案したプロジェクトの中で展開するサービス・プロダクトは本当にユーザーに使われるものであるか ・実現に向けての計画性があるか（体制・資金・リソースなど）
事業拡張性	10点	・中長期を見据えたビジネスモデル・収益モデルの構築が見込めているか

#### ②ベンチャー発自由提案型：50点満点

審査項目	配点	審査の視点
新規性	10点	・コロナで顕在化した課題に対応する、新たな価値を生み出す共創アイデアであるか
市場性	10点	・市場・業界を理解した上での共創アイデアとなっているか ・対象となるターゲット・ユーザーの市場規模は充分にあるか
実現可能性	10点	・解決したい課題とソリューションが明確になっているか ・提案したプロジェクト中で展開するサービス・プロダクトは本当にユーザーに使われるものであるか ・実現に向けての計画性があるか（体制・資金・リソースなど）
事業拡張性	10点	・中長期を見据えたビジネスモデル・収益モデルの構築が見込めているか
支援の必要性	10点	・提案したベンチャー企業の活動状況や企業規模は、県としての支援対象としてふさわしいか ・提案したベンチャー企業は、県の支援を受けることで、大きな成長が見込めるか

上記の審査項目に基づき、次の2段階に分けて審査を実施します。

#### ・書類審査（1次審査）

応募内容をもとに、上記の審査項目・視点に基づき、審査を行います。

#### ・プレゼン審査（最終審査）

書類審査通過者を対象に、プレゼン審査を行います（オンライン）。

なお、上記審査にあたっては、必要に応じて、パートナー企業又はBAK事務局からヒアリングを行います。

なお、①大企業テーマ提示型については、採択後、パートナー企業とともに、支援金の使途や年度内の実証内容及び達成目標を記載した実証実施計画書を作成し、外部審査委員及び県・BAK事務局による支援金認定審査を受けていただきます。

**審査により計画が認定された場合、支援金が提供されます。**

## 7 スケジュール

日程	項目	①大企業提示テーマ型	②ベンチャー発自由提案型
令和4年 6月14日（火曜） 16～18時	オンライン説明会 （応募サイトからお申込ください）	○	○
6月22日（水曜）	早期応募締切 →応募を受けた大企業からフィードバックをお送りします	○	
7月11日（月曜） 24時	応募最終締切	○	○
7月中	応募企業へのヒアリング （応募者全員にヒアリングするものではありません。応募内容を踏まえ、必要なヒアリングを行います）	○	○
8月上旬	1次審査結果連絡	○	○
8月中旬	1次審査通過者に対するフィードバック	○	○
8月22日（月曜） ・23日（火曜）	①大企業提示テーマ型の最終審査 （プレゼンテーション審査） ※テーマを提示した大企業が審査します。	○	
9月5日（月曜）	②ベンチャー発自由提案型の最終審査 （プレゼンテーション審査） ※外部審査委員が審査します。		○
9月12日（月曜）	①大企業提示テーマ型の支援金認定審査 ※外部審査委員が支援金の使途・実証実施計画の認定を行います。	○	
9月中旬	プロジェクト採択通知	○	○
9月中旬～ 10月中旬	プロジェクト採択企業名の公開（プレスリリース）	○	○
9～3月	インキュベーション期間 （週～月次の進捗確認ミーティング等）	○	○
令和5年2月	成果発表会	○	○

## 8 応募方法等

次のサイトに掲載された応募フォームから必要事項の記入及び書類提出により応募してください。

<https://bak.eiicon.net>

- ・①大企業テーマ提示型について、応募はテーマ（大企業）ごとに行います。
- ・複数のテーマ（大企業）に応募できます。
- ・①大企業テーマ提示型と②ベンチャー発自由提案型の両方に応募できます。
- ・②ベンチャー発自由提案型において、プロジェクト内容・連携企業が異なる提案であれば、複数の応募ができます。

9 採択時に提出いただく書類

- ・提出日前3か月以内に発行された法人登記事項証明書（写し）  
（「2 応募資格」の確認に必要となりますので、必ず御提出ください。）

主催 神奈川県産業労働局産業部産業振興課

運営事務局 パーソルイノベーション株式会社 (eiicon company)

問合せ先 : bak@eiicon.net

※あらかじめ応募サイトに掲載した「よくあるご質問」を御確認ください。

対象経費一覧表

内 容	
調査・宣伝費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特許及び実用新案の調査・取得に要する費用（弁理士等への謝金を含む）</li> <li>・ ニーズ・市場・マーケットの調査に要する費用</li> <li>・ 技術評価に要する経費</li> <li>・ 広告宣伝費（展示会・見本市等への出展費用を含む）</li> <li>・ その他必要経費</li> </ul>
開発関係費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原材料・副資材の購入</li> <li>・ 工具・器具・資料等の購入費（5万円未満（税込）のものに限る）</li> <li>・ 機械装置等のリース料（リース契約終了後に所有権が移転するものは購入費とみなし、5万円未満（税込）のものに限る）</li> <li>・ 外注加工費（デザイン費等含む）</li> <li>・ ソフトウェアの開発・改良費</li> <li>・ その他必要経費</li> </ul>
実証関係費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全対策費（保険料・機器試験料・保安警備料等）</li> <li>・ 謝礼等（モニターや協力施設への謝金、その他物品を含む）</li> <li>・ 会場使用料等</li> <li>・ 機器購入・賃借料</li> <li>・ 参加募集に係る費用（広告費等）</li> <li>・ その他必要経費</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅費、交通費（領収書を発行可能なもので、かつ旅行目的が採択された事業の目的と合致すると判断できるものに限る）</li> <li>・ 弁護士、公認会計士、弁理士等専門家への謝金</li> <li>・ 人件費</li> </ul> <p>（採択された総事業費の20%を上限とする。ただし、必要となるシステムを自社開発するなどIT分野に限り、40%を上限とする）</p>